

第 3 回パラスポーツクラシフィケーション研修会実施しました

2023 年 3 月 25 日、オンラインにて第 3 回パラスポーツクラシフィケーション研修会を開催し 25 名程の医療関係者、スポーツ関係者の方に参加していただきました。今回のテーマは、パラフェンシング（車いすフェンシング）とフレームランニングでした。

パラフェンシングは、講師に国内クラシファイアの田中信吾先生をお招きし、実施致しました。

パラフェンシングのクラス分けでは、体幹下肢の筋力が完全になく、フェンシングを持つ手の機能も低下し、テーピングなどでの補助も必要な 1 A, 1 B といったクラスから、自力での歩行も可能であり、実際の競技では体幹を後ろに倒したり、前に倒したりすることのできるクラス 4 まで 5 段階のクラス分けがされています。

実際のクラス分けの内容は、関節可動域や筋力評価（MMT）といった身体機能面だけでなく、体幹上肢の複合的（機能的）な運動の評価まで行われていました。さらに、講義の中では実際にクラス分けを行う際、こういったところに注意が必要か、こういった工夫をして効率的に行っているかの紹介をしていただきました。

フレームランニングの講義では、当院リハビリテーション科科長の指宿立先生が講師を行いました。

講演内容は入門編と中級編の 2 つに分かれており、入門編ではフレームランニングのルーツから現状、さらに大まかなクラス分けについて紹介して頂きました。

中級編ではフレームランニングの出場資格、それぞれの評価内容について紹介して頂きました。

これまでの陸上競技以上に、運動失調やジスキネジアなどの評価を細かく見ている印象を持ちました。

車いすフェンシングもフレームランニングも Youtube で競技の様子を見ることができます。興味がある方は是非検索してご覧ください！

次年度も継続して実施します。どうぞ興味のある方は是非参加の程よろしくお願い致します。

明野中央病院リハビリテーション科 谷口直也